

経営比較分析表（令和2年度決算）

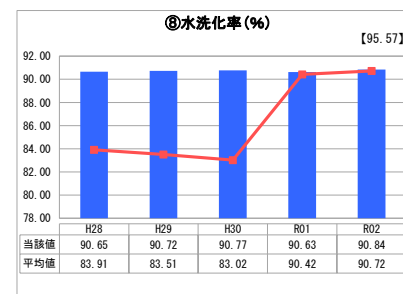
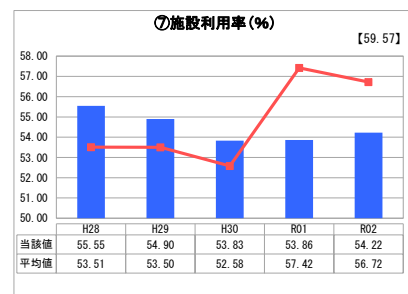
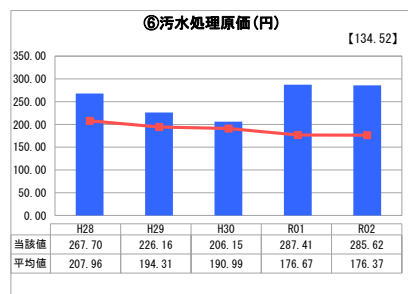
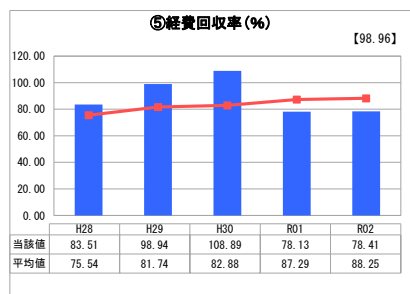
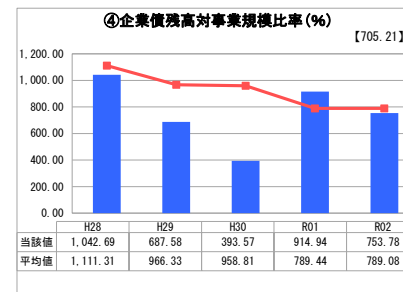
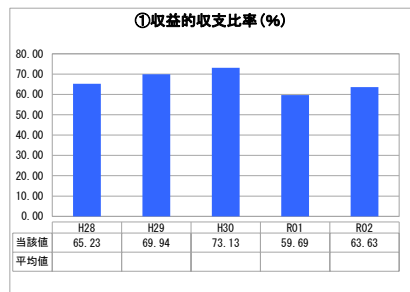
北海道 余市町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	81.18	72.94	4,300

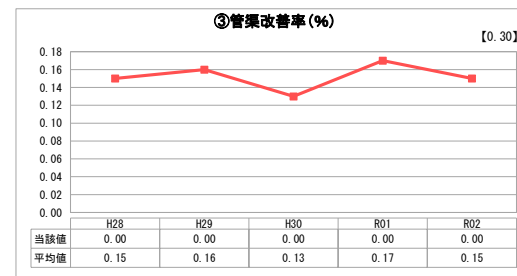
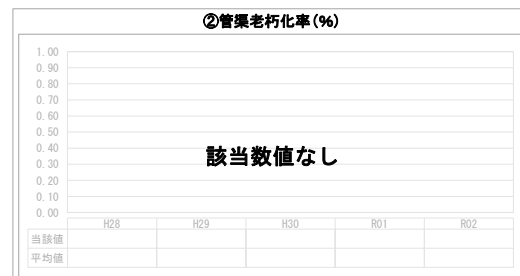
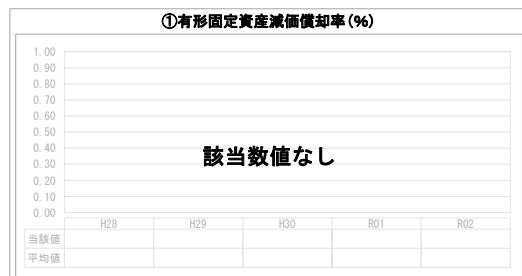
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,253	140.59	129.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,657	5.51	2,660.07

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度より一般会計の負担区分となる下水道事業への繰入金の対象経費に大きな異動があり、その影響が続いています。使用料については微減となっており人口減少に伴うものとみられます。経営状況を明確にし下水道運営の透明性を確保するため、公営企業法の適用に向け準備を進めています。また広域化・共同化による、新規事業の準備を進めています。

2. 老朽化の状況について

供用開始から30年以上が経過しています。老朽化した施設の更新については、利用状況や人口減少を踏まえ、過大な仕様となっていないか分析し、計画的な更新を実施します。

全体総括

公営企業法の適用、広域化・共同化による事業に取り組むことにより、下水道事業の健全化、効率化を図ります。今後、人口減少を踏まえた、整備区域の見直しについて検討を行い、効率的な投資と維持管理費の削減を図りながら、持続可能な下水道事業の運営に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。